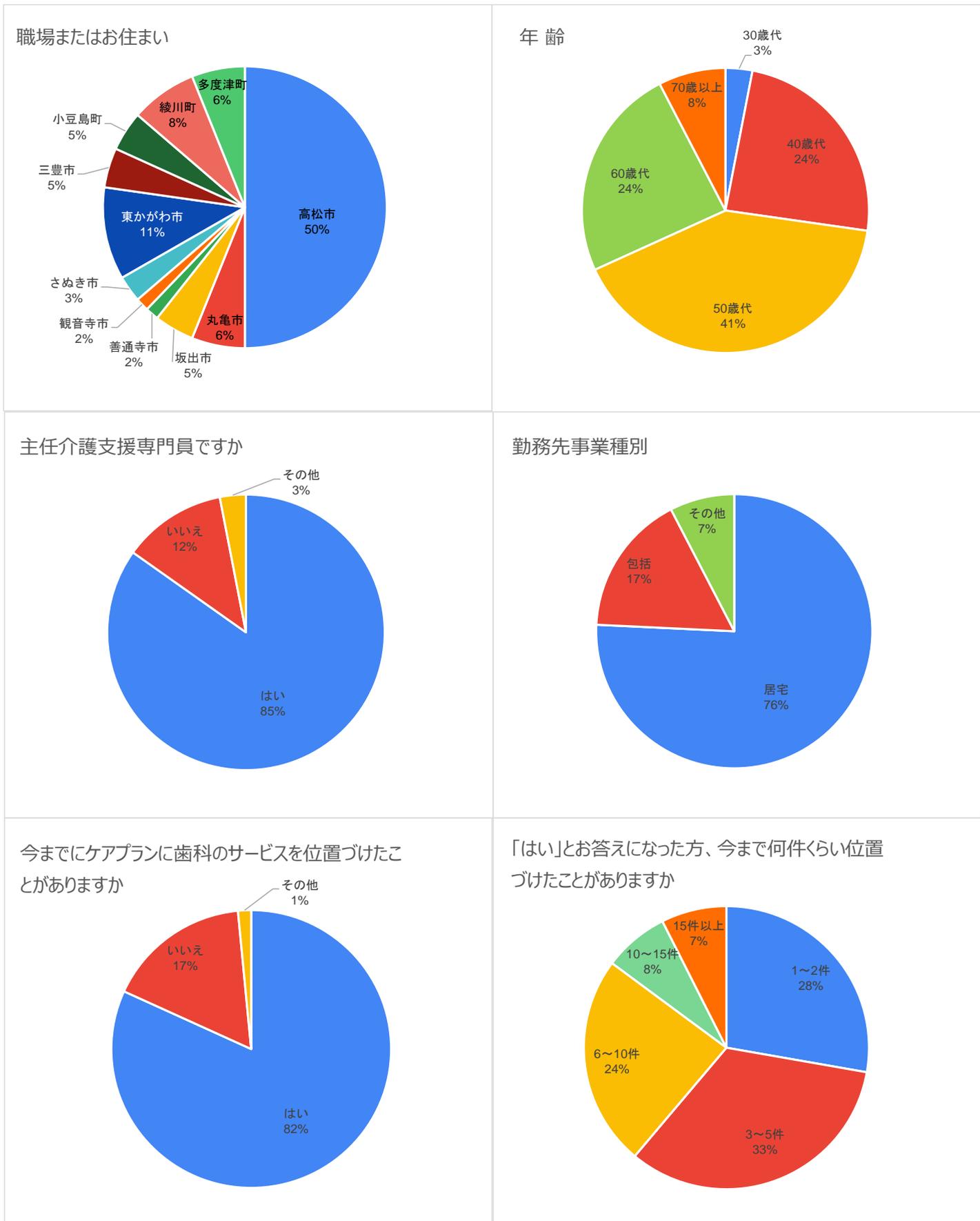


『歯科訪問診療について』

“その方らしく生きている”を亡くなる瞬間までみんなが感じられる生活支援を目指して
～生活と医療をつなぐ歯科医療～

【回答率:81.5%(n=66)】



問6. 今日の研修で参考になったところを教えてください (つづき)

- ・利用者にとって口腔ケアや歯科治療が食事・呼吸、発声などだけでなく転倒予防・認知症予防・ADLとQOLの向上など生活全般に関わる大切なことであると気づくことができた。
- ・口腔ケアで状態の回復に繋がる。 ・担当の利用者(98歳)が虫歯治療後、体調がよくなっている。
- ・死ぬ間際であろうと、口腔ケアがいかに大切な事が分かった。
- ・毎日の口腔ケアが認知症予防や生活に楽しみが増えQOLの向上に繋がることを学んだ。
- ・口腔ケアがエンドオブライフケアにつながるそのものであることの事例をみて実証となった
- ・口腔機能を良くすることは、食事を美味しく食べられるだけでなく認知症予防やねたきり予防、社会参加意欲向上など、あらゆることにつながることを実際の様々なケース例を学びながら認識することができました。
- ・アルツハイマー型認知症について、嗅覚障害の症状が早期から出現、歯磨き粉の匂いがしない・食事が味気ないなどの観点から早期発見に繋がるということも、知識がなければ得られない盲点だったと思います。今後の支援の中でチェックのひとつにしていきたいです。
- ・認知症があっても支援する側が決めつけてしまうことなく、本人の思いに寄り添っていくこと、その中でみえてきたことを支援するすべて人で共有していくことで本人らしさをかなえるプラン・支援につなげていきたい。
- ・認知症発症予防的因子となること。咀嚼することが重要なので、必ずしも自歯である必要はないこと。
- ・歯科医療が認知症発症に対して予防因子として関してくるという事
- ・口腔ケアをおろそかにすることが認知症発症のリスクが高くなる(1.9倍)ことをより理解できた
- ・歯と認知症が関連していることがよくわかりました。
- ・歯ブラシの仕方、種類等の話が聞けたこと。今、まさにこのような状態の方がいるので、大変参考になりました。
- ・義歯ブラシで歯磨きされる方の姿は衝撃的でした。「動作をとにかく一回やってみる」アセスメント、留意したいと思います。
- ・口腔内異常の実際や状態に応じた口腔ケアについて知ることができた。
- ・講師の先生が「歯科にしかできない、歯科だからできる」という誇りと責務を持って仕事に当たっておられることに感銘を受けました。
- ・今までにはない細やかさで女性ならではの着眼点だと強く思いました。もっともっとお聞きしたかったです。1日あっても参加したいと思ったのは初めてです。
- ・症例の紹介が具体的でわかりやすく(ご両親の例を挙げての説明等)、今後の業務に活かすことができます。
- ・「たった1回の訪問でも変化のきっかけが与えられる」という、先生がトンガで体験した話を通して自分も利用者にも口腔ケアの大切さを伝え、取り組んでもらえるきっかけが与えられるようにしたいと思った。

問11. 今後の歯科医師会との合同研修でとりあげて欲しいテーマや聞きたい話があれば教えてください

- ・今回の話をもっと膨らませた話を聞いてみたいです。
- ・遠藤先生の「話し足りない」お話しをぜひ伺いたいです ・今回の遠藤先生の講義をより詳しく聞きたい
- ・今回の研修がとても良い学びになりました。続きを研修で受けたいと思いました。
- ・今日のように幅広い観点から話していただくととても勉強になります。
- ・わからないことが多いので、勉強会などを通じて知識を深めたい
- ・同じような内容ではありますが、口腔ケアの重要性について ・口腔ケアをもっと学びたいです!
- ・歯科医師や歯科衛生士との連携について(連携の仕方等) ・現場職員への関わり方
- ・訪問歯科診療を拒否する方に対するアプローチ(話を傾聴に努めていますが、もっと何か必要でしょうか?)等
- ・要介護状態でなく、ADL自立している高齢者が歯がなくて食事内容も偏り体重減少。歯科受診を拒否する場合の対応方法について
- ・訪問歯科、居宅療養管理指導の仕組みや意義について ・介護保険や障害者支援について
- ・介護保険サービスに位置付けの大切さと具体例等
- ・介護保険サービス事業者や在宅家族の方向けにアドバイスできる認知症や寝たきりの方の口腔ケアや嚥下リハビリなどの話について
- ・パーキンソン病の利用者の口腔ケアと嚥下機能維持
- ・認知症の方に起こりやすい口腔トラブルとその対処法
- ・難病の方の飲み込み訓練 ・嚥下について ・誤嚥性肺炎予防について
- ・不顕性肺炎の方で繰り返す場合の対応、嚥下機能が低下している人の対応(自宅介護で家族や事業所はどうすれば良いか)
- ・自宅で家族ができる口腔訓練など
- ・電動歯ブラシに歯ブラシの使い分け。歯科衛生士によっては主治医の先生の治療法と違いがあり、どうすればいいかを教えてほしいです。
- ・義歯の装着 ・インプラントのケア ・毎日の歯磨き方法 ・口腔体操
- ・ケア方法など実際に体験(実践)してみたい。

問11. 今後の歯科医師会との合同研修でとりあげて欲しいテーマや聞きたい話があれば教えてください（つづき）

- ・入院中の口腔ケアの現状(総合病院に歯科衛生士はいるのか)
- ・香川県訪問歯科診療の現状具体的に
- ・歯科医師会で行ってきた事例紹介。(このような患者さんの場合にどのように対応されたか、医師からのケアマネとの連携等)
- ・在宅で介護保険と実際に協働した事例を聞きたい
- ・今回の歯科の事例がわかりやすかったので、別の事例も聞きたい。
- ・グループワークで一緒になった坂東先生の講義もお聞きしたいと思いました。

多数の感想やご意見をご記入いただきありがとうございました。今後の参考にさせていただきます。

会場の様子



遠藤



歯科の先生方、歯科衛生士の
皆様と活発な意見交換が
できました！
来年もぜひご参加ください☆